

2021年6月3日
日立ABBパワーグリッド社

日立ABBパワーグリッド社が、SDGsに基づく「サステナビリティ 2030」戦略を発表 「地球環境」、「人間尊重」、「平和と公正」、「パートナーシップ」を柱に持続可能な社会を実現

日立ABBパワーグリッド社は、本日、国際連合の「持続可能な開発目標 (SDGs)」から、特に重点的に取り組む八つのSDGsを選び、事業活動を通じて「社会価値」、「環境価値」、「経済価値」の向上に貢献するための「サステナビリティ 2030」戦略を発表しました。

選出したSDGsは、3 (すべての人に健康と福祉を)、4 (質の高い教育をみんなに)、5 (ジェンダー平等を実現しよう)、6 (安全な水とトイレを世界中に)、7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)、12 (つくる責任つかう責任)、16 (平和と公正をすべての人に)と、17 (パートナーシップで目標を達成しよう)の八つです。「サステナビリティ 2030」では、これらのSDGsに対応する、事業推進上の目標を「地球環境」「人間尊重」「平和と公正」「パートナーシップ」という四つの柱に分類しています。

地球環境では、2030年までに自社でカーボンニュートラルを達成することを目標にしています。その第一歩として、2021年末までに自社内で使う電力を100%非化石燃料由来に移行させることをめざします。また、CO₂排出量^{*1}を2030年までにバリューチェーン全体で半減させる目標を掲げ、サプライヤーと一体となって取り組んでいます。このほかの目標として、廃棄物の半減^{*2}や水使用量の25%削減なども含まれています。

日立ABBパワーグリッド社は、お客さまの課題を克服し、効率性を高め、持続可能なエネルギーの未来への移行を支援する、デジタルおよびエネルギープラットフォームの構築をリードしています。例えば、2021年4月に「EconiQ™」を発表しました。これは、持続可能性を重視した設計で、従来よりも優れた環境性能を発揮することが実証されている製品、サービス、ソリューションです。

人間尊重では、90カ国以上で働く約36,000人の従業員が、安心して最高のパフォーマンスを発揮できるように目標を設定しています。災害やハラスメントゼロに加えて、健康上の理由による休業率が同じ業種の中で上位4分の1の低い範囲に入るように推進します。また、最近、ダイバーシティ&インクルージョンのためのビジョン「ダイバーシティ 360」を導入しました。2025年までに女性従業員の割合を19%から25%に向上させることに併せて、生涯学習文化を育みビジネス機会を増やすための統合学習フレームワークを確立します。

平和と公正の観点では、汚職・贈収賄を発生させないという目標を掲げています。これを踏まえて、2021年2月1日に、日立ABBパワーグリッド社は、ドミニク・アブロクワを、インテグリティならびにトレードリスクの予防、検知、解決に関連するプログラムと戦略を統括する、インテグリティのグローバル責任者に任命しました。

パートナーシップでは、急速なエネルギー転換を可能にするためには、コラボレーションが不可欠との認識のもと、マルチステークホルダーパートナーシップへの参加を増やすという目標を設定しました。日立ABBパワーグリッド社は、お客さまやパートナーとソリューションを協創することを技術理念

の中心に据えて事業を推進しており、カーボンニュートラルなエネルギーの未来への移行を加速させるためのパートナーシップの構築に重点を置いています。

日立 ABB パワーグリッド社 CEO クラウディオ・ファキンは、「ネット・ゼロ・エミッションの未来に沿ったサステナビリティ計画は、私たちのビジネス、成長、そして長期的な成功に不可欠なものです。『サステナビリティ 2030』では、より持続可能な社会の実現に向けて、革新的なソリューションとダイバーシティ&インクルージョンの企業文化を融合させた戦略を掲げ、持続可能なエネルギーの未来に貢献することを基本理念としています。」と述べています。

日立 ABB パワーグリッド社の健康・安全・環境およびサステナビリティの責任者であるマシュー・ノースは、「地球環境、人間尊重、平和と公正、パートナーシップは、『サステナビリティ 2030』の四つの柱であり、より持続可能な社会に向けて努力する中で、私たちのビジネス全体を導き、拡大し、前進させる意欲的な目標を含んでいます。」と述べています。

日立 ABB パワーグリッド社の 80.1%の株式を保有する日立製作所は、持続可能な世界を実現するための戦略として、「社会イノベーション事業のグローバルリーダー」を掲げています。そして、「社会価値」、「環境価値」、「経済価値」を向上させ、人々の生活の質の向上や顧客価値の向上に取り組んでいます。当社も、持続可能な社会の実現をめざし、事業活動を通じて、「社会価値」、「環境価値」、「経済的価値」の向上に貢献していきます。

*1 カーボンオフセット使用最小限の 2019 年ベースライン

*2 2013 年ベースライン

■ EconiQ™ に関するニュースリリース 2021 年 4 月 21 日発表

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2021/04/0421b.html>

■ 日立 ABB パワーグリッド社について

日立 ABB パワーグリッド社は、日立と ABB 社で合わせて約 250 年の歴史を持つグローバルテクノロジーリーダーであり、90 カ国で約 36,000 人の従業員を擁しています。スイス・チューリッヒに本社を置き、エネルギー、インダストリー、インフラ産業のバリューチェーンに加えて、モビリティ、スマートシティ、蓄電やデータセンターなどの新分野にも事業を展開しています。日立 ABB パワーグリッド社は、グローバルトップの導入実績やフットプリントを生かし、お客さまの社会的価値、環境価値、経済価値のバランスを向上させます。また、より強じん、よりスマート、よりクリーンなグリッドを実現するためのパートナーとして、革新的なデジタル技術により“Powering Good for Sustainable Energy”を実現していきます。

詳しくは、ウェブサイト(<https://www.hitachiabb-powergrids.com/jp/ja/>)をご覧ください。

■ 日立グループ パワーグリッドポータルサイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/energy/pg/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
